

行仙宿の巡回整備（補充作業）

水抜き、行者堂の檻の取り替え、小屋の掃除などが残っているとのことで、それらの作業を頼まれました。

◇実施日 12月20日（土） 晴れ
◇参加者 鳥羽真司、湯川一郎 2名

今年最後の行事として、12月21日に行仙宿巡回整備が計画されていたが、天気予報が良くななく計画が中止になりそうなことから、18日に行仙宿に向かった。しかし、国道425号線の法面工事による規制があり、村吉さんと梶野さんの二人が行仙宿に向かい、沖崎さんと私は補給路登山口で薪作りの作業を行い、私は規制時間の関係から2時間ほどで早々に帰路についた。



檻を交換

薪を補充

カレンダー交換

まだ、計画中止が知らされていない中、18日の夜、鳥羽さんから行仙宿巡回整備に参加したいとの連絡を受け、天気予報を確認し、20日に二人で出向くこととした。また、梶野さんからは雨水槽の

掃除機で掃除

当日は朝まで雨が降っていましたが、新宮を出発する時点で雨は止み、道中所々で青空が見えるところもあつた。補給路登山口では、桜の樹を運搬してくれた杉本さんのロープを回収した。風もなく汗ばむほどで、佐田の辻の手前で小屋を見上げると、行者堂の窓が開いているのに気がついた。

到着後、二人でそれぞれ作業を分担し、檻の取り替え、雨水槽の水抜き、カレンダーの交換、ストーブの灰の始末、小屋の掃除を行つた。気温も10度以上あり、窓を開けたままで寒さは感じられなかつた。一連の作業が11時半過ぎに終了。昼食をとり、最後に空のペットボトルやビールの空き缶、ゴミを集め、持ち帰り下山した。



（記：湯川）

行動タイム

補給路登山口 09:09→9:56 行仙宿 12:12→12:56 補給路登山口

雨水槽の水抜き



落ちている枝を掃除

